

# 第3期鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）素案 に関する意見募集

## ■「鶴見・あいねっと」とは

鶴見区を健やかに暮らせてつながりあうまちにするための「鶴見区地域福祉保健計画」の愛称です。「たすけあい・支えあい・人と人のネットワーク」の意味が込められた公募で名付けられたものです。鶴見区では、子どもも大人も、高齢者も障害者も、誰もが安心して生活できるまちづくりのための活動を「あいねっと」と呼び、区民の皆さん、関係団体・機関、事業者とともに進めています。

現在の第2期計画の期間が平成28年3月までであることから、平成28年4月から平成33年3月までの第3期計画の策定を進めています。この度、計画の「素案」を作成しました。



## ■第2期計画の取組

世代間交流、高齢者の見守り、地域のマップや情報紙づくりなど、地区の状況にあわせた継続的な活動が行われ、顔の見える関係づくりが進みました。また、区役所や区社協などの補助金や助成金を活用し、活動をさらに活性化・主体化した取組が増えました。



【地域のマップづくり】

## ■今後に向けた主な課題

- ・地域の福祉保健活動の担い手不足が、区内で共通する課題となっており、より幅広い住民参加を促すための仕掛けづくりの工夫を行う必要があること
- ・大型マンション建設等による転入住民の増加のなか、世代やその地に住む期間に関係なく、地域のなかでの顔の見える関係づくりを深めていく必要があること
- ・高齢化の進行、個別ケースの複雑化等の現状を踏まえ、支援を必要とする人を地域全体で見守り、支援につなげる取組を強化する必要があること
- ・区内の健康関連の統計数値が良くない状況のなか、いつまでもいきいきと健やかに暮らし続けられるよう、地域での健康づくり活動の促進や、個人がもつ能力・特技を発揮し活躍できる場・機会づくりを行う必要があること などがあげられます。

## 基本理念 たすけあい・支えあい・人と人のネットワーク

NEW

### 推進の柱① つながりのある地域づくり

<キーワード>

交流

人材

<行動目標と取組例>

#### 目標① 世代間の交流を進めます

- ・あいさつや声かけの実施 ・子どもとともに地域活動の企画

#### 目標② 地域の団体や関係機関の連携を深めます

- ・自治会町内会、近隣施設、専門機関との関係強化

#### 目標③ 幅広い住民の参加を促し、地域活動の担い手を育てます

- ・地域活動へ一歩踏み出す後押しをする取組 ・高齢者の力の活用

#### 目標④ 地域活動や個人、団体をつなぐコーディネーターを育てます

- ・手助けを必要とする人とボランティアをする人のつなぎ役の育成

### 推進の柱② 必要な人に支援が届く仕組みづくり

<キーワード>

支えあい

見守り

情報

互いの理解

<行動目標と取組例>

#### 目標① 誰もがどこかにつながるような支えあいのネットワークをつくります

- ・支援を必要としている人を把握し支援につなげる取組

#### 目標② 見守りの輪を地域全体に広がります

- ・隣近所での見守り ・災害時に備えた共助の取組

#### 目標③ 必要な情報をわかりやすく届けます

- ・子どもにもわかりやすいお知らせ ・情報発信方法の工夫

#### 目標④ 地域の中で共に暮らすということを意識します

- ・多文化共生、障害、認知症等への理解啓発

### 推進の柱③ 健やかに暮らせる地域づくり

<キーワード>

健康

場・機会

<行動目標と取組例>

#### 目標① 地域での健康づくり活動に取り組みます

- ・住民の健康づくりにつながる活動（ウォーキング、健康体操等）
- ・各種団体の活動や行事そのものが健康につながる取組

#### 目標② 意欲と能力を発揮でき、いきいきと暮らせる場や機会をつくります

- ・個人の能力や特技を発揮できる出番づくり
- ・世代を問わず気軽に集える場づくり（交流サロンの開設等）



■第3期鶴見・あいねっど（鶴見区地域福祉保健計画）素案へのご意見ご提案等をご記入ください。

### <鶴見区の現状>

- ・多くの方が転入しています。  
※社会増加数：市内第1位（平成25年）
- ・子どもが増えています。  
※就学前児童数：市内第3位（平成26年4月）
- ・地域活動の担い手が高齢化し不足しています。  
※自治会町内会加入率（平成26年4月）79.1%

- ・外国人の方が多く暮らしています。  
※外国人住民数：市内第2位（平成26年3月）
- ・高齢者が増えています。  
※高齢化率：20.0%（5年前比 2.1%増加）  
高齢者人口：市内第6位（平成27年1月）

- ・健康状態が心配です。  
※平均寿命（男性）：市内第17位  
平均寿命（女性）：市内第14位  
健康寿命（平均自立期間）（男性）：市内第17位  
健康寿命（平均自立期間）（女性）：市内第16位  
（ともに平成23年）

### <地区懇談会でいただいたご意見>

- ・隣近所の方へのあいさつ運動を広げていきたい。あいさつは防犯にもつながる。
- ・子育て世代や男性など、より幅広い人に活動に参加してもらえよう工夫をする必要がある。

- ・災害時に備え、隣近所に住む人のことを日頃から知っておくことが大切である。
- ・障害者と一緒になにかに取り組む機会が増えると、障害への理解が進む。

- ・まずは外に出ることが大事。外に出ると人に会うことになるので、健康維持につながる。
- ・高齢者によるボランティアは、高齢者にとっては生きがいや居場所となる。

キ  
リ  
ト  
リ

## ■ 地区別計画の策定

鶴見・あいねっとは、区全体計画と地区別計画の 2 層で構成されています。地区別計画とは、連合町内会単位に目標を立てて、「できることから一歩ずつ進めていこう」と、取り組む活動をまとめたものです。次期の地区別計画については、各地区で懇談会を開催し、次の 5 年間に目指すことを議論して、地区の実情に応じた計画となるようまとめられました。



【地区懇談会の様子】

## 皆様のご意見をお待ちしています！ 平成27年12月21日（月）まで

### ■ 意見募集の内容

「第3期鶴見・あいねっど（鶴見区地域福祉保健計画）素案」へのご意見・ご提案を募集します。

### ■ 意見の募集方法

郵送、FAX、電子メールで、ご意見をお寄せください。下記または素案冊子の裏表紙にあるハガキをご利用ください。「第3期鶴見・あいねっど（鶴見区地域福祉保健計画）素案」へのご意見である旨を明記し、ご意見に関連する箇所が分かるようにご記入ください。

### ■ 送付先

郵送：〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央3-20-1 鶴見区役所福祉保健課事業企画担当 あて  
FAX：045-510-1792 電子メール：tr-fukuho@city.yokohama.jp

料  
金  
受  
取  
人  
払  
郵  
便



差  
出  
有  
効  
期  
間  
平  
成  
2  
7  
年  
1  
2  
月  
3  
1  
日  
ま  
で

期  
間  
内  
切  
手  
不  
要

郵便はがき

2 3 0 8 7 9 0

<受取人>

横浜市鶴見区鶴見中央  
3-20-1

鶴見区役所福祉保健課  
事業企画担当 行



■ 差支えなければ、ご記入された方についてお答えください。

①年代（○をつけてください。）

20歳未満 20歳代 30歳代 40歳代  
50歳代 60歳代 70歳代 80歳代以上

②性別（○をつけてください。）

男性 ・ 女性

③お住まいの町名：（ ）

- ・ いただいたご意見の概要と、それに対する鶴見区の考え方をまとめ、鶴見区のホームページにて公表します。個別の回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。いただいたご意見の内容につきましては、個人情報を除き公開される可能性がありますので、ご承知おきください。
- ・ いただいた情報は、この意見募集以外の目的で利用したり、第三者に提供したりすることはありません。

平成27年11月 編集・発行

鶴見区役所 福祉保健課事業企画担当

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央3-20-1

TEL:045(510)1826 FAX:045(510)1792

社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央4-32-1

UNEXビル5階

TEL:045(504)5619 FAX:045(504)5616

キ  
リ  
ト  
リ